甲第152号証

防災科学技術研究所発行の地すべり地形分布図の特長

防災科学技術研究所で刊行している地すべり地形分布図は以下の様な特長をもちます。

広範囲にわたり同一基準で高度な地すべり地形判読を実施している

20年以上の地形判読経験を有し、地すべり地形に関して高度な判読技術と知識を持つ地形研究者が空中写真判読を行なっています。また、同一の判読基準により広い範囲の判読を行なっているため、広域にわたって相互比較などにも用いることが可能です。

地すべり地形変動の初期段階も図示している

地すべり変動の初期状態にあり、滑動量は小さいが不安定域、亜変動域と推定される地すべり地形についても判読を行ない、その移動体の輪郭を図示しています。こういった地形は典型的な地すべり地形を呈していないため、従来の地すべり地形分布図においてはほとんど図示されていませんでした。

滑落崖と移動体を区別して表記

個々の地すべり地形の基本構造を明確に表現するために、滑落崖と移動体を明確に区別して図示しています。また単位地すべりとその内部地形構造とを明確に区別するなど、地すべりの発達史に従って階層的に図示しています。図面で用いた地図記号は、従来から用いられている表現法を出来るだけ尊重すると共に、実感のイメージとの整合性を図っています。

地すべり地形の形状(実形)を表示

地すべり地形を単に滑落崖のみで示したり、存在する位置を暗号で表現する手法をとらず、実態に即し実形で正確に表現しています。これによってどこまでが地すべり地形の範囲なのかを把握することができます。また地すべり地形の形態・規模に関する諸量を正確に知ることも可能になります。これにより、地質・地形・地質・植生・土壌・土地利用などの諸条件との正確な対比が可能となります。

滑落崖の開析度を区分表示

滑落崖は地すべり変動直後は急崖を呈しているが、侵食作用によって開析が進み、丸みを帯びたり、所々で失われたりする。このような滑落崖の開析された程度を判読区分し、凡例によってその程度を図示している。これにより地すべり地形が形成された時代の新旧をある程度目安をつけることが可能となります。

地すべり地形の相互関係を表示

複数の地すべり地形が隣接している場合に、地すべり相互の位置的・時間的関係が読図可能なように凡例の表現法に工夫をこらしています。

前へ 解説Topに戻る 次へ

コンテンツ

地すべり地形分布図を見る
地すべりWeb-GIS(修正中)
- 地すべり地形GISデータ
- 地すべり地形分布図PDF

地すべりを知る(解説)
- 地すべり地形分布図について
- 本データベースの利用方法
- 土砂災害を防ぐために

その他のトピック
- 著作権について
- お問い合わせ
- FAQ(よくある質問)

お問い合わせ: 独立行政法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域 災害リスク研究ユニット
防災科学技術研究所Webサイト: http://www.bosai.go.jp/

独立行政法人 防災科学技術研究所 2006